

平成30年度国民体育大会 愛知県代表選手選考方法（少年）

『少年男子』

- ①本国体出場枠 東海ブロック4県中1県
- ②重点目標 東海ブロック大会（8月18日）を突破
- ③選手決定方法

下記、2大会のポイントと実績を参考に会議を経て、東海ブロックの選手を4名決定する。

『選考対象大会』

	6月3日（日）国民体育大会 少年男子 愛知県選考会					
①	1位	2位	3位	4位	5位～8位	9位～
	6pt	5pt	4pt	3pt	2pt	1pt
	6月9日（土）～10日（日）中日本選手権大会 少年男子の部					
②	1位	2位	3位	4位	5位～8位	9位～
	9pt	7.5pt	6pt	4.5pt	3pt	1.5pt

『少年女子』

- ①本国体出場枠 東海ブロック4県中2県
- ②重点目標 東海ブロック大会（8月18日）を突破
- ③選手決定方法

下記、2大会のポイントと実績を参考に会議を経て、東海ブロックの選手を4名決定する。

『選考対象大会』

	6月3日（日）国民体育大会 少年女子 愛知県選考会					
①	1位	2位	3位	4位	5位～8位	9位～
	6pt	5pt	4pt	3pt	2pt	1pt
	6月9日（土）～10日（日）中日本選手権大会 少年女子の部					
②	1位	2位	3位	4位	5位～8位	9位～
	9pt	7.5pt	6pt	4.5pt	3pt	1.5pt

平成30年度国民体育大会 愛知県代表選手選考方法（成年）

『成年男子』

- ①本国体出場枠 東海ブロック4県とも本国体に出場
- ②重点目標 本国体（9月29日）サーブルでベスト4（岩手国体サーブル5位）
- ③選手決定方法

- （1）下記、2大会のポイントと実績を参考に会議を経て、指導者資格を保有している選手を監督兼任選手として決定する。
- （2）下記、2大会のポイントと実績を参考に会議を経て、監督兼任選手を除いた3名を本国体の選手候補として決定する。
- （3）選手候補3名から8月末までの合宿や大会を参考に、本国体の選手を2名決定する。

『選考対象大会』

	6月9日（土）～10日（日）中日本選手権大会 一般男子の部					
①	1位	2位	3位	4位	5位～8位	9位～
	6pt	5pt	4pt	3pt	2pt	1pt
	6月10日（日）国民体育大会 成年男子 愛知県選考会（サーブルのみ実施）					
②	1位	2位	3位	4位	5位～8位	9位～
	9pt	7.5pt	6pt	4.5pt	3pt	1.5pt

※重点目標からサーブルを重視し、ポイントを1.5倍とする

『成年女子』

- ①本国体出場枠 東海ブロック4県中1県
- ②重点目標 東海ブロック大会（8月18日）を突破
- ③選手決定方法

- （1）会議を経て、指導者資格を保有している選手を監督兼任選手として決定する。
- （2）中日本選手権大会一般女子の部で、国体に愛知県代表として出場することのできる選手の中で1位となった選手を、東海ブロックの選手として決定する。
- （3）国民体育大会 成年女子 愛知県選考会（エペ）で、国体に愛知県代表として出場することのできる選手の中で1位となった選手を、東海ブロックの選手として決定する。
- （4）下記、2大会のポイントと実績を参考に会議を経て、東海ブロックの選手を1名決定する。

『選考対象大会』

	6月9日（土）～10日（日）中日本選手権大会 一般女子の部					
①	1位	2位	3位	4位	5位～8位	9位～
	決定	7.5pt	6pt	4.5pt	3pt	1.5pt
	6月10日（日）国民体育大会 成年女子 愛知県選考会（エペのみ実施）					
②	1位	2位	3位	4位	5位～8位	9位～
	決定	7.5pt	6pt	4.5pt	3pt	1.5pt